



今朝のホットな話題

2026-07-06 — Vibe Coder Bootcamp Tech News

1



🔍 Alibaba が「Claude Code」を全社禁止 (7/10 から) — 高リスクソフト指定、蒸留めぐる米中対立が現場レベルへ

2



🔍 Google が「agents-cli」を公開 — Claude Code / Codex / Cursor をそのまま Google Cloud のエージェントビルダーに変える公式 CLI

3



🔍 OpenAI 公式「codex-plugin-cc」 — Claude Code の中から Codex を呼べる、単一ターミナルで初のマルチエージェント開発

7 トピックを整理。



🔍 何が起きた？

Alibaba が社内の全ワークスペースで Anthropic の Claude Code の利用を 2026-07-10 から禁止すると通達したと TechCrunch が報道。Claude Code を「高リスクソフトウェア」に分類し、理由はデータセキュリティ。

📌 主な変更点

- Alibaba が Claude Code を高リスクソフトウェアに指定し、2026-07-10 から全社利用禁止
- 一部開発者は『Claude Code が中国ユーザーを静かにタグ付けしていた』と主張。Anthropic は蒸留対策 (anti-distillation) 措置と説明
- 6月、Anthropic が Alibaba/Qwen ラボによる『過去最大級の蒸留攻撃』を米上院に告発。2,880万件の不正やり取りを指摘
- 自前のフロンティア・コーディングエージェントを持つ企業が、競合のエージェントを社員に使わせ続けるはずがない、という商業的動機の見方も

💡 なぜ重要？

モデルの優劣だけでなく、開発ツールそのものが地政学リスクの対象になる時代に入った象徴。AI コーディングツールがベンダー・国籍・データ扱いで選別され、ロックインとデータガバナンスの論点が強まる。

Xでの反応: 『Claude にスパイウェアがあるという話は本当だったのか』から『純粋に競合排除の商業判断』まで割れた。米中 AI 冷戦の文脈で語られる。



🔍 何が起きた？

Google が AI エージェントを作成・評価・デプロイするための公式 CLI 「agents-cli」をオープンソースで公開。単体のエージェントではなく、既存の coding agent にスキルを差し込み、Google Cloud 上でプロダクションのエージェントを組む道具に変える。

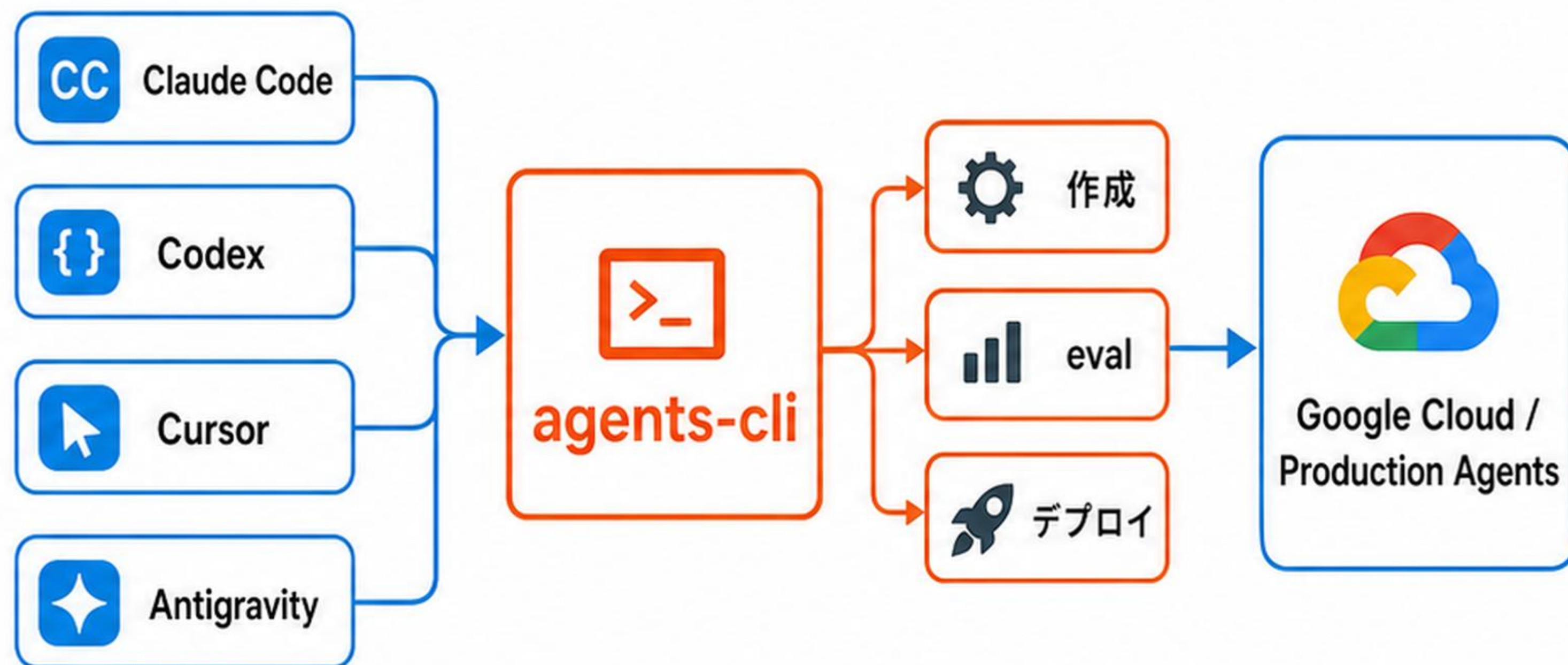
📌 主な変更点

- github.com/google/agents-cli としてオープンソース公開
- Claude Code / Codex / Cursor / Antigravity など既存の coding agent に対応
- 作成・評価 (eval) ・デプロイのスキルを提供
- Google Cloud 上での本番運用にフォーカス
- 特定エージェントに縛られず、手持ちのツールをそのまま使える中立設計

💡 なぜ重要？

ベンダーが自社エコシステムに閉じたエージェント SDK を出す中、Google は「どの coding agent でも使える」中立 CLI を提示。普段使いの Claude Code / Codex から一歩進み、評価・デプロイまで含めたエージェント開発を体験する入口になりうる。

既存ツール → agents-cli → Google Cloud 本番運用



Xでの反応:

『サイレントにドロップ』
『あらゆる coding assistant をエージェントビルダーに変える』



Karpathy が agentic engineering 的だと言及したとの声

🔍 何が起きた？

OpenAI が公式プラグイン「codex-plugin-cc」を公開。Claude Code の CLI からそのまま Codex を呼び出し、コードレビューやタスク委譲を「タブを切り替えずに」実行できる。

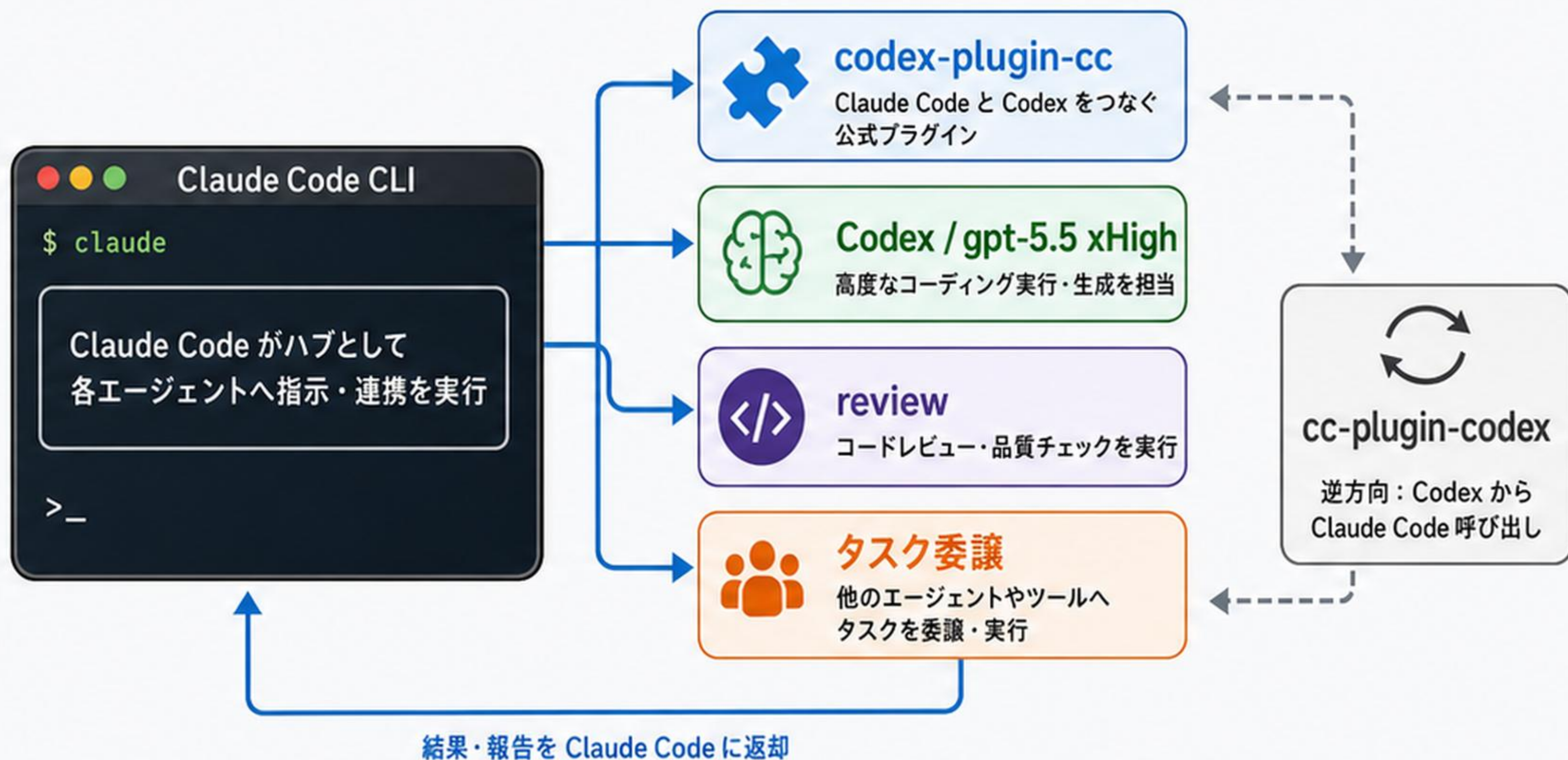
📌 主な変更点

- github.com/openai/codex-plugin-cc (OpenAI 公式) を claude-code CLI からインストール
- Claude Code から Codex に review / タスク委譲を投げられ、ウィンドウ切り替えが不要に
- 「Fable に計画させ、コード実行だけ gpt-5.5 xHigh (Codex) に回す」といった使い分けの報告
- 有志による逆方向 cc-plugin-codex (Codex から Claude Code 呼び出し) も登場し、双方向の委譲が実用段階に

💡 なぜ重要？

「1つのエージェントに全部やらせる」から「得意分野ごとに複数エージェントを組み合わせる」へ。二大ベンダーの公式プラグインが後押しし、計画は片方・実装はもう片方・レビューは第三者、という役割分担をすぐ手元で試せる。

単一ターミナル内のマルチエージェント開発



“ タブ切り替えなしで Codex を Claude Code 内で動かせるのは insane 単一ターミナルで初の本物のマルチエージェント開発 ”

Nvidia、AI スタートアップに「計算資源を将来収益と交換」するレベニューシェア制を正式開始 - 21万 GPU をコミット

CNBC likes

何が起きた？

Nvidia が、急成長中の AI スタートアップに GPU 計算資源を提供し、対価として将来のクラウド収益の一部を受け取る「レベニューシェア」契約を正式に開始したと CNBC などが報道。

主な変更点

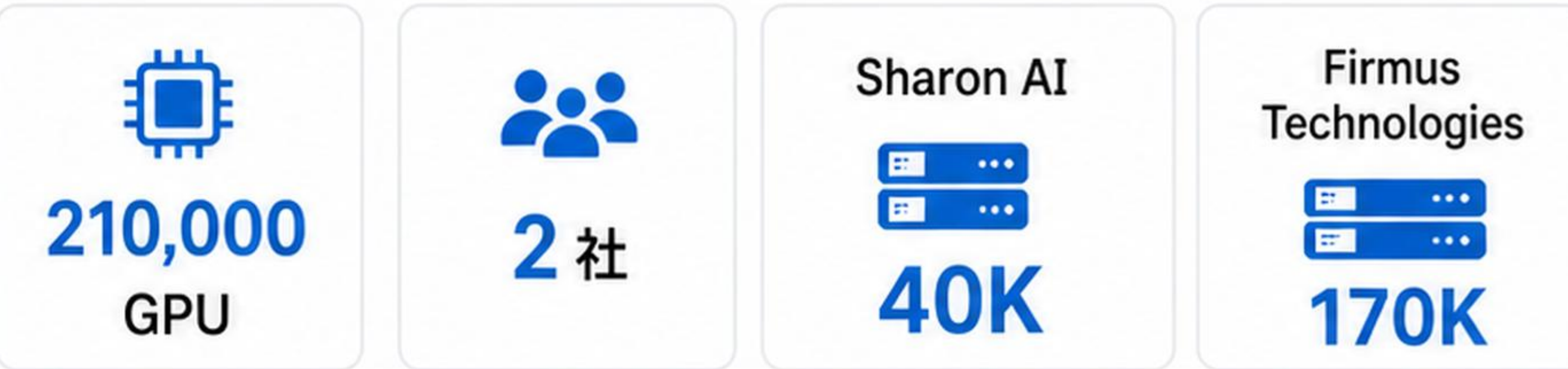
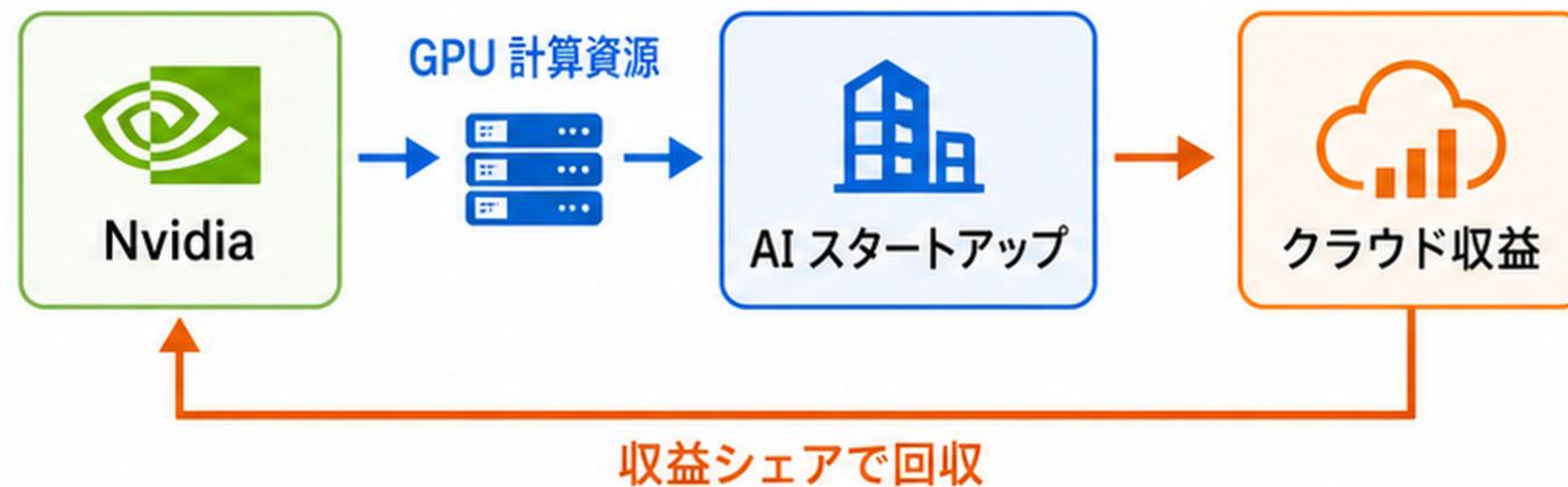
- 将来のクラウド収益シェアを得る契約を正式開始
- 初期パートナー 2 社に計 210,000 GPU をコミット
- Sharon AI 40K + Firmus Technologies 170K との報あり
- 前払いの巨額現金なしに GPU にアクセス
- Nvidia は顧客のクラウド収益から回収
- チップ売りから AI 経済のインフラ地主へ

なぜ重要？

GPU が最大のボトルネックかつ最大コストである AI スタートアップにとって、資金調達の形そのものを変えうる仕組み。

Xでの反応

現金の代わりにコンピュータで出資する新モデル



何が起きた？

Meta が AI スタートアップ Manus の約 20 億ドル買収を、中国当局の外資規制を理由に巻き戻していると報道。Meta はすでに Manus を社内データ基盤から切り離し、社員に同プラットフォームの利用停止を指示したという。

主な変更点





- Meta の約 \$2B 規模の Manus 買収を、中国当局が外資規制を理由にブロック/差し戻し (Quartz · JDSupra 等)
- Meta は Manus を内部データシステムから切断し、社員に利用停止を指示 (統合の具体的巻き戻し)
- 中国が自国 AI の優位を守るため、米テック大手の買収すら止める、米中覇権争いの一断面
- クロスボーダー AI ディールに国家の投資規制が直接効いてくる前例に

なぜ重要？

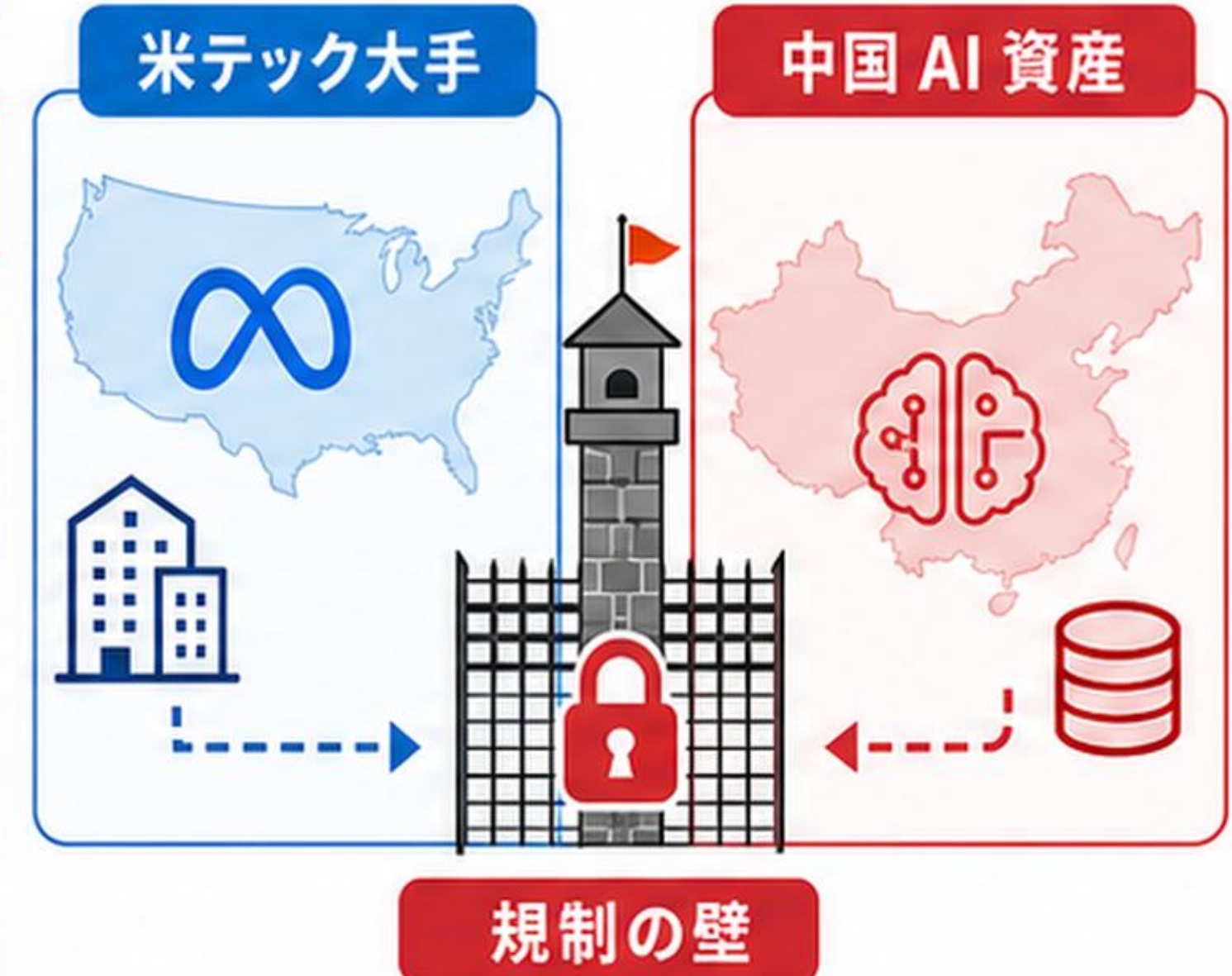
AI スタートアップの価値が国家戦略資産と見なされ、通常の企業買収が地政学で覆される時代に入ったことを示す。AI 業界の勢力図が国境で分断されていく流れを読む材料になる。



Xでの反応: 北京は自国の優位を守るためなら米テックの買収も止める、という地政学視点の言及が中心。法律事務所からもクロスボーダー M&A への警鐘として取り上げられた。

クロスボーダー AI M&A の巻き戻し

- 1  →  manus
Meta → Manus 約 \$2B 買収
- 2  中国当局
外資規制
- 3  **ブロック/差し戻し**
- 4  内部データ基盤から切断
- 5  社員: Manus 利用停止
- 6  前例: 国家規制が AI M&A を左右

約 \$2B
買収規模



 当局・規制
  ブロック/差し戻し
  切断
  利用停止

2026 年上半期の世界スタートアップ投資が過去最高の 5,100 億ドル – AI が牽引、OpenAI・Anthropic に資金集中

何が起きた？

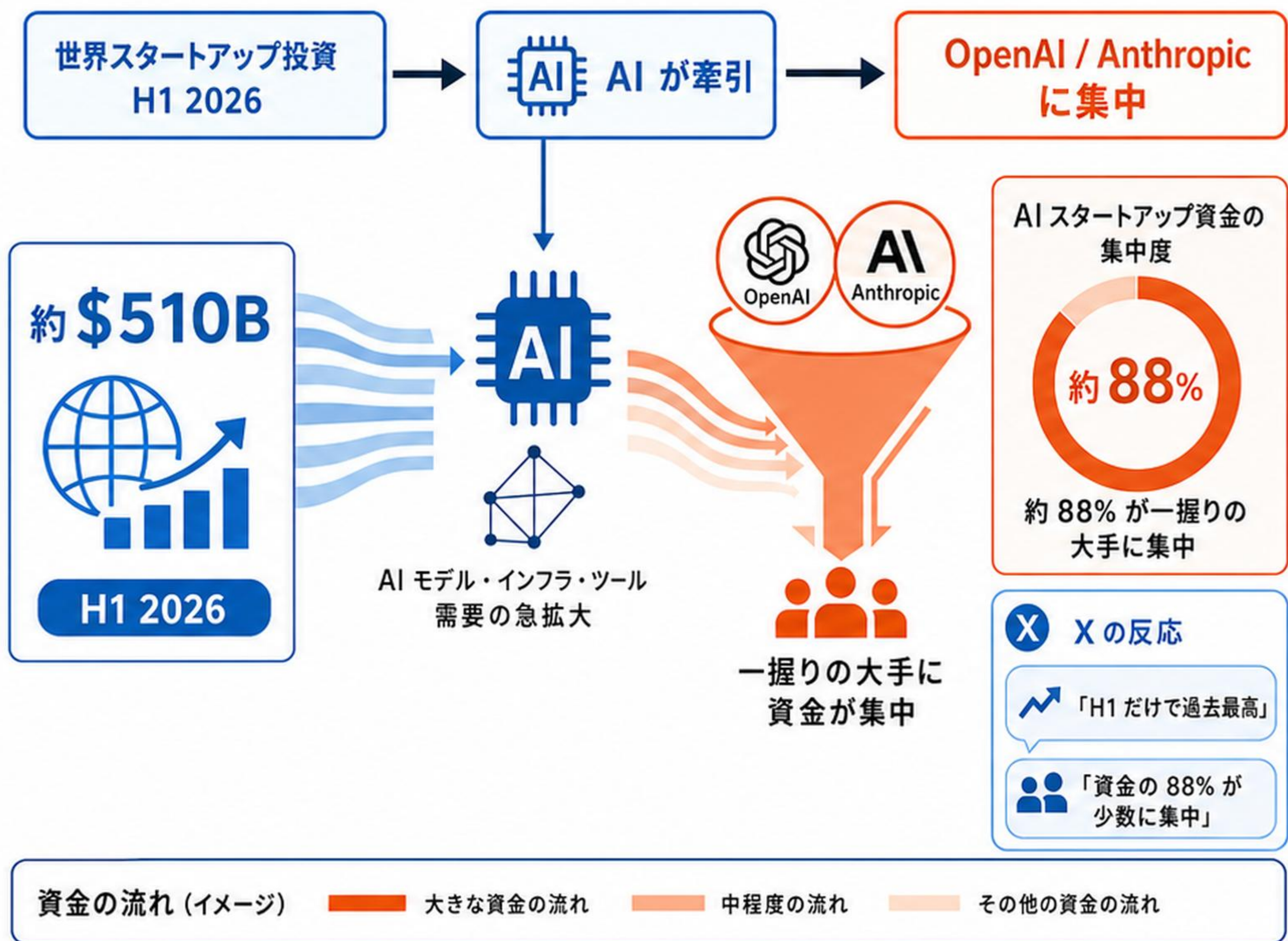
2026 年上半期 (H1) の世界スタートアップ投資額が過去最高の約 5,100 億ドルに達し、その伸びを AI が牽引しているとの集計が複数共有された。OpenAI と Anthropic だけで相当な割合を占めるとされ、AI への資金集中が一段と鮮明になっている。

主なポイント

- H1 2026 の世界スタートアップ投資が約 \$510B で過去最高
- 伸びの主因は AI、OpenAI・Anthropic といったフロンティア勢に資金が集中
- AI スタートアップ資金の約 88% が一握りの大手に集中という偏在の指摘
- AI バブル論も含め、資金の流れ先が少数に偏っている構図

なぜ重要？

資金がどこに・どれだけ流れているかは業界の温度感を測る基本指標。自分たちが使うモデル・ツールの背後でどれだけの資本が動き、それが少数に偏っている現実を知る背景データになる。



💡 要点

データアナリスト檜田光 (@hik0107) が、AIと労働の関係を「資産運用」の比喻で読み解いた X Article。労働は各人が持つ「暗黙知」という元本からの配当受け取りだったと捉える。

🔧 具体的な手法 / 使いどころ

- 「1億円・5%・500万」の配当生活は単純化された計算。手数料や20%課税で元本維持の安定運用は難しい
- 労働=暗黙知の資産運用：手順やコツという暗黙知を作業に乗せて付加価値を生み、そこから配当（給料）を得る
- 米NY Shift は無料家事代行でデータを吸い上げ、家庭用ロボットのAIエンジン企業に販売。配管・料理へ展開予定
- AIは作業ではなく「暗黙知という元本」を一度きりで吸い上げ償却させる、という捉え方
- 2026年ダラス連銀分析：暗黙知（経験）がものを言う仕事ほど、AI台頭後もむしろ賃金が伸びている

🌱 なぜ刺さるか / 学び

「AIに仕事を奪われる」を高解像度に捉え直す考察。AIが奪うのは作業ではなく、長年積み上げた暗黙知という元本の吸い上げ・償却だという視点は、Vibe Coding でAIを単なる作業代行に使うのか、自分の暗黙知を乗せて付加価値を出すのかという問いに直結する。

Before: 資産運用モデル



暗黙知（元本）



作業に乗せる



付加価値



配当（給料）

After: 元本取り崩しモデル



無料作業データ収集



AIへ転写



ロボットAIに販売



暗黙知の償却

ケーススタディ



米NY Shift



無料家事代行



家庭用ロボットAI



配管・料理へ展開予定



Likes

151



Bookmarks

198



Views

12.6万



経験がものを言う仕事ほど、AI台頭後も賃金が伸びる
(2026年ダラス連銀分析)

本日のトピック一覧

📄 今日のまとめ

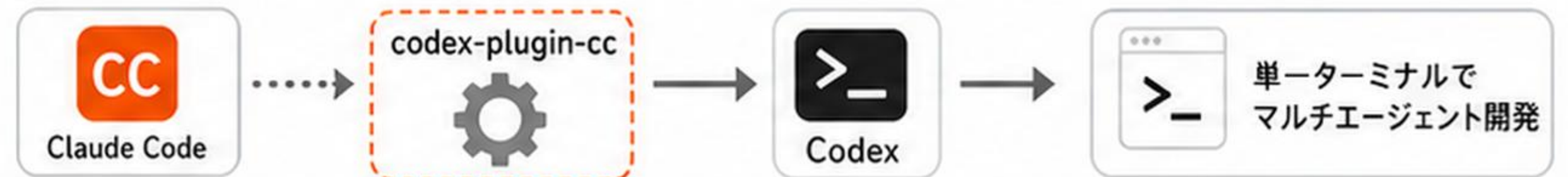
1 🔍 **Alibaba が「Claude Code」を全社禁止 (7/10 から)** – 高リスクソフト 指定、蒸留めぐる米中対立が現場レベルへ



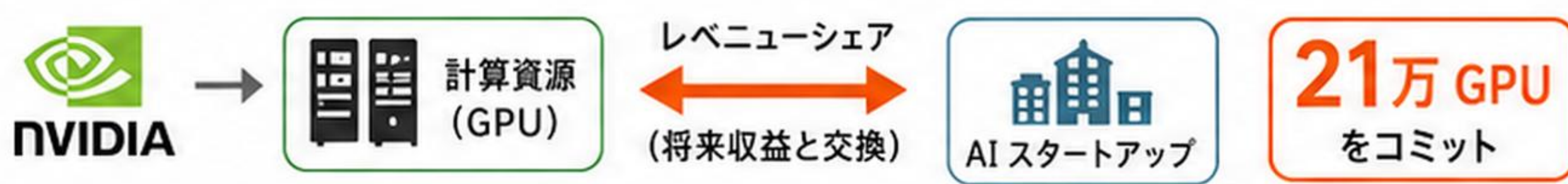
2 🔍 **Google が「agents-cli」を公開** – Claude Code / Codex / Cursor をそのまま Google Cloud のエージェントビルダーに変える公式 CLI



3 🔍 **OpenAI 公式「codex-plugin-cc」** – Claude Code の中から Codex を呼べる、単一ターミナルで初のマルチエージェント開発



4 🔍 **Nvidia、AI スタートアップに「計算資源を将来収益と交換」するレベニューシェア制を正式開始** – 21万 GPU をコミット



5 🔍 **中国が Meta の 20 億ドル AI 買収 (Manus) を差し戻し** – Meta は統合を巻き戻し、地政学が M&A を左右



6 🔍 **2026 年上半期の世界スタートアップ投資が過去最高の 5,100 億ドル** – AI が牽引、OpenAI・Anthropic に資金集中



7 📖 **配当で暮らせた時代 – 労働の「資産運用」モデルから「元本取り崩し」モデルへ (榎田光)**

